

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

| 事業者名 | 関東化学株式会社   | 事業所名  | 草加工場 |  |    |    |    |
|------|--|---|------|--|----|----|----|
| 取組措置 |  | 具体的取組措置   |      |  | R3 | R4 | R5 |
| 01   | 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握<br>-----<br>(01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出                          | トンキロ法による集計を毎月把握し、計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を半期ごとに実施されるマネジメントレビューで報告し、課題の抽出を行っている。課題に対する取組みとして、ルートや積載量等の見直しを行い、継続的に実施しています。 |      |  | ○  | ○  | ○  |
| 01   | 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握<br>-----<br>(02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施            | 年1回運送業者教育研修会を実施した際に、CO2抑制に関する社内規則を教育している。   |      |  | ○  | ○  | ○  |
| 02   | 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定<br>-----<br>(01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認 | 新規選定する際は、自動車地球温暖化対策計画書の提出状況を確認しています。  |      |  | ○  | ○  | ○  |
| 02   | 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定<br>-----<br>(02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認                                 | 板柵先を選定する際にISO14000やグリーンやクリーン経営認証等の取得を基準の1つとしている。  |      |  | ○  | ○  | ○  |
| 03   | 物流拠点の活用による輸配送の効率化<br>-----<br>( )  | 出荷量の多い地区に拠点を置き在庫保管をし運送効率向上を図っている。<br>製造拠点の変更による運送コスト削減を図っている。   |      |  | ○  | ○  | ○  |
| 04   | 積載率の向上による輸配送の効率化<br>-----<br>(01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上                    | 折りたたみ可能な通い箱を使用し返却時の無駄なスペースを無くすことで積載効率の向上をいっている。   |      |  | ○  | ○  | ○  |

## 自動車地球温暖化対策実施方針

|   |  |   |   |   |
|---|--|---|---|---|
| 04 積載率の向上による輸配送の効率化<br>-----<br>( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組  | 他社との共同輸配送を一部行っている。   | ○ | ○ | ○ |
| 04 積載率の向上による輸配送の効率化<br>-----<br>( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注                                  | 配車予定表により積載量を算出し、適正車種で運送会社へ発注している。                              | ○ | ○ | ○ |
| 05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化<br>-----<br>( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化                                      | 営業所から工場への発注(出庫)指示伝票は当日16時までが翌日配達、16時以降は翌々配達とルール化されている。         | ○ | ○ | ○ |
| 05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化<br>-----<br>( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し  | 営業を含めた物流・運賃プロジェクトで首都圏内の納品時間、周辺道路状況を考慮し、出発時間、ルート等の検討見直しを実施している。 | ○ | ○ | ○ |
| 05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化<br>-----<br>( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減   | 運送トラックの待ち時間削減の検討・見直しを実施している。                                   | ○ | ○ | ○ |
| 06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組<br>-----<br>( )   | 営業を含めた物流・運賃プロジェクトで回数等の削減を検討・見直しを実施している。                        | ○ | ○ | ○ |
| 07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進<br>-----<br>( 01 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請 | 契約運送業者と自動車地球温暖化対策実施方針に関して覚書を交わし、低燃費車やデジタルタコメーター等の導入を要請している。    | ○ | ○ | ○ |

## 自動車地球温暖化対策実施方針

|  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| <p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進<br/> (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>                           | <p>年1回の運転者教育研修会を実施し、エコドライブの実施を要請している。</p>           | ○ | ○ | ○ |
| <p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進<br/> (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p> | <p>契約運送業者に対し定期的に確認を実施している。</p>                      | ○ | ○ | ○ |
| <p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進<br/> (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>                     | <p>「アイドリングストップの励行」が記載されている入構注意事項を納品業者へ渡し励行している。</p> | ○ | ○ | ○ |
| <p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進<br/> ( )</p>  | <p>草加-大牟田、草加-札幌の長距離区間において、貨物列車や船を活用している。</p>        | ○ | ○ | ○ |
| <p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減<br/> ( )</p>  | <p>連携クラウドシステムで運行管理・環境管理・労務を行っている運送業者と契約している。</p>    | ○ | ○ | ○ |